



筆まめのすすめ

江戸川総合人生大学 学長 北野 大



私たちにとって財産とは何でしょうか。広辞苑では財産とは土地、建物、商品などの経済的価値のある物としています。ここではもう少し広い定義として、自分にとって大切なものと考えていきます。

なにを自分の最大の財産と思うかは、其の人の人生観また年齢、立場、地位などとともに変わっていきます。

私自身が最近、意図的に大切な財産と考えており、また実感しているのが良き友人、知人です。彼らは私にとっての「ブレーン」であり、人生の師であり、もっと端的に言えば、失礼ながら彼らは私にとって便利な存在だからです。

もちろん家族、身内は知人の前に大切ですが、これらは血縁というもので結びついており、自然の感情からも特に意図すべきものではないからです。一方、これらと違って友人、知人は意図的に絆を強めておかないと自然に消えていきます。

多くの仕事 [授業、研究、審議会、執筆、講演など] をこなしていくには、自分一人の力では限界があります。現在はインターネットの普及により、必要な情報は比較的容易に入手できますが、やはりその道の専門家から直接教えを受けたり、薫陶を受けたり、また情報をいただくことの方が一味も二味も異なります。

それではどのようにしたら、「ブレーン」としての友人、知人を保っておけるでしょうか。私が常日頃行っていることは筆まめということです。多くの研究仲間から著書や論文をいただきます。また、研究所や工場の見学をさせていただいた時や、講演に招かれた時も、私は必ず礼状を書いています。

なぜこんなことをしているのか。それは人脈を壊したくない、できれば更に構築したいという自分勝手な要求からです。礼状を出しておく、こちらから物事を頼みやすくなります。そんなわけで、私の手帳には10枚くらいの葉書が常に入っています。

江戸川総合人生大学は、多彩な友人、知人作りにおいては、他のいかなる大学にも引けを取りません。何しろ種々の異なった人生経験を持った多くの学生が2年間一緒に学び、一緒に作業を行うわけですから。ぜひ、大学に入学され、友人、知人という良きブレーンを得、また自分も他者の良きブレーンになって、お互いにすばらしい人生を送りませんか。

今年10月から始まる第6期生を募集しています。
「篠崎文化プラザ」で仲間とともに学ぶ楽しさを実感しませんか？

新入生募集！

学科名	授業 (30回/年)	主要テーマ
江戸川まちづくり学科	金曜日 10:00 ~ 12:00	まちづくり
国際コミュニティ学科	火曜日 10:00 ~ 12:00	国際交流・外国人との共生
子ども支援学科	火曜日 10:00 ~ 12:00	子育て支援・地域教育
介護・福祉学科	水曜日 14:00 ~ 16:00	地域と高齢社会

【申し込み資格】 区内在住・在勤・在学の方、年齢制限はありません。
【修学期間】 2年間
【授業料】 3万円 (1年間) ※実地授業時の入館料等、夫費分をご負担いただく場合があります。
【申し込み】 区役所・各事務所・図書館・コミュニティ会館などで配布している「入学案内」に添付されている入学願書に必要事項を記入の上、江戸川総合人生大学推進室 (江戸川区篠崎町7-20-19) へ郵送又は持参してください。

人生大学 地域のために自分を活かしてみたい。江戸川総合人生大学はそんな人々のために江戸川区が開設した区民のための大学です。現在、1年生と2年生合わせて約180名の学生が、熱心にそれぞれの目的や課題に向けて授業に取り組んでいます。
(* 学校教育法等で定める正規の大学ではありません。)

各 学 科 の 卒 業 発

江戸川まちづくり学科 〈5つの卒業発表に学ぶ〉

紫陽花が咲く頃に「市民活動の実践的研究」をテーマに卒業研究のグループ発表が続々と行われました。
みんなでつなげよう！江戸川総合人生大学

江戸川総合人生大学を卒業した諸先輩方の地域活動取材して発表。卒業生が繰り広げる多彩な地域活動の一端を覗くことが出来、その熱さに感動・・・



愛し育てよう新中川を！

江戸川区の新たな顔である人工河川「新中川」の特性を徹底調査し、有効利用を提案した発表に河川敷での悠々たる散策やスポーツイベントへの活用が楽しみになりワクワク・・・

江戸時代を通して現代を見つめる

紙芝居で稲作の話やワラジづくり体験で、昔の循環型社会を実感・・・

区政応援一より住みよい江戸川区に区の諸事業に参加しながら環境をよくする市民活動を推進・・・

老い老い運転事故防止の決定打を考える
落語家、警察官を動員した防止策づくり・・・



豊かな表現力で発表する素晴らしさ、この事は様々な人達が出会い仲間となり、地域に溶け込んでいく証の発表にも思えました。

取材：細谷（区） 菅原・村本（江）

9月に卒業を迎える4期生。2年間の集大成

国際コミュニティ学科 〈4期生の卒業発表を聴く〉

チームレインボー

「区立小松川第二中学校夜間学級との交流」

交流のきっかけは、NHKで放送された昼間に働きながら夜間中学で一生懸命学ぶ姿をみて、「何かお役に立てないか」という思いから。

学生との交流は、浴衣の着付け、文化祭や公開授業への参加、そして美術の授業で延べ20時間のサポートと次々に広がりました。ボランティアを通して「相手に喜ばれ、それが

自分達の喜びとなる。」という感動を得ました。

人生大学と夜間学級とが姉妹校のように深く関わっていただけと思っています。



SLIF(スリフ)

「外国人の生活情報を発信してお役に立ちたい」

区在住の外国人が急激に増加する中、彼らは生活情報の不足で困っているのではないかと医療や災害等の緊急時の対応、行政への手続の問題等に彼らがスムーズに対応するために、まずは「支援から共生へ」をテーマに、やさしい日本語で外国人の為の生活情報「ハローフレンズ イン エドガ

ワ」の作成に取り掛かりました。

F&Sの会

「もっとインド社会を知りたい」

日頃インド人の姿を街で多く見かけようになり、西葛西図書館主催の「インドを知る1日」に参加して、興味を持つようになりました。

ディワリフェスタ西葛西（インドの祭り）でのお手伝い、4期生主催のイベント「Let's enjoy!」ではインド舞踊を披露して頂いたり、GIS（インド人学校）の視察訪問や貸し切りバスで区内巡りなどをしながら交流を深めています。



取材：杉山・秋元（区） 住谷（子）



レッツトライ！みどりのカーテン

えどがわエコセンターでは、つる植物をベランダやお庭の陽よけにして、クーラーに頼り過ぎず爽やかに夏を過ごしている方の写真を募集しています。

美しい花やおいしい野菜のなったご自慢の「みどりのカーテン」の写真をエコセンターに送りましょう！

特定非営利活動法人 えどがわエコセンター

電話 / 03-5659-1651 ファクス / 03-5659-1677

メール / edogawa-ecocenter4@bz01.plala.or.jp



表から学ぶ！！

子ども支援学科 ＜4期生卒業研究発表＞

6月16日、23日子ども支援学科では、学生15名の課題研究が行われました。

子どもを取りまく様々な問題について取り組まれた興味深い発表でした。

★学校という枠組みから離れた所でも個性を伸ばす子どもたちとの関わり方についての発表

★障がいをもった子どもたちや弱い立場の子どもたちの傍らで一緒に生

きる場を求めての活動体験の発表

★共働きや一人親の子どもたちの安全な場としてのすくすくスクールの実態

★学習支援ボランティアとしての体験とその現状

★子どもと高齢者との関わりについて小学校の保護者に行ったアンケート調査について



取材：木村(国)・小杉(千)・勝倉/川端/
木元 宮道(介)

ともいえる卒業発表を取材してきました。

介護・福祉学科 ＜2年間の学びの成果を発表＞

・ボランティア720日を振り返って
施設の中で老いていく利用者さんをみながら人間の幸せを考えています。ボランティアを始めて4年目。1000日を目指してこれからも頑張ります。



・地域に根ざそう小さな一歩から
ホッとできる場づくりを目指し、地域ミニデイ「うきた芙蓉の会」を立ち上げ、10月から活動スタートです。

・あったらいいな！こんな住まいこんなボランティア

自分らしい老いの暮らしの多様性と現実の把握をしました。

・笑いの力=元気力

笑いの種を探して新聞記事を収集。笑うことで得られる効力を再発見しました。



・在宅を支える有償ボランティアの現在・未来

公的なものでは補えない住民参加型福祉サービス。

今回の調査からこのサービスの必要

性を実感しました。

・高齢者の社会参加との生きがい

男性ボランティアの現状をアンケート調査し、活動体験から見えてきた事をまとめました。



・知っておこう、こんなこと

いざというとき役に立つAEDや車椅子の使い方等、実演も交えて発表。

「幅広いテーマに引き込まれ個人・グループとも日々の活動からの積み重ねを感じるあっという間の4時間。皆さんの熱い思いと取り組みに感動し多くの学びを得た発表でした。」

取材：寺久保(江) 木元/宮道(介)

外国人のための災害体験スクール

ボランティアセンターでは、日本語がわからない等災害時には弱者となる可能性のある外国人のみなさんを対象に、災害体験スクールを実施します。外国人の方はもちろん、支援ボランティアの方や興味のある方は、ぜひご参加ください。

【日時】9月27日(日) 9:00～13:30

【会場】江戸川消防署(中央2-9-13)

【内容】地震・けむり体験、炊き出し訓練等

【申込】9月15日(火)までに、ボランティアセンターへ。

TEL: 5662-7671 FAX: 3653-0740



旬なひとたち

江戸川総合人生大学ほっとけない！

なぜだか、江戸川総合人生大学をほっとけない！と思いついたアラフォーのおばちゃん3人(江戸川まちづくり学科講師・竹迫和代 江戸川まちづくり学科1期生・高木理恵 竹原京美)が奮起。人生大学のおもしろさとそこから生まれた活動団体をより多くの区民の方に知っていただきたいという思いから「江戸川総合人生大学 放課後タイムへようこそ！」というイベントを企画しました。



7/11(土)篠崎文化プラザで開催した本イベントには、予想をはるかに超える100名の方に参加していただきました。このイベントは2部構成になっていて、参加されたみんなで放課後という時間を楽しくいただく工夫が盛りだくさんに詰まっています。

第1部は「大学のお宝披露」

卒業生、在校生による9つの活動団体(個人)がエントリーし、それぞれ5分程度で活動内容をアナログ手法(例えば、紙芝居など)で発表。イベント参加費500円の1割を「地域通貨」に換金し、「これは応援したい」と思う活動に寄付するので、発表者も参

加者も真剣そのものでした。「地域通貨」を使っての活動支援は今後の活動の励みになったと思います。

つづいて休憩をはさみガラリと会場のセットを替えて、第2部の「ちゃぶだいカフェ」のオープンです。10のテーブルには、【江戸川区の魅力ってなんだろう…】【学ぶって何?】等、各テーブルに1つずつお題があり、このお題をめぐってテーブルについて参加者が自分の思いを自由に話しながら、お互いに交流をはかるフランクな交流イベントです。みんなそれぞれの放課後タイムを楽しんでいるようでした。

ほっとけない!の活動を通して気づいたことですが、「ほっとけない=おせっかい?!」今回、おせっかいのおばちゃん3人が人生大学をほっとけない!と立ち上がり、イベントに参加されたひとみんなもおせっかいおばちゃんをほっとけない!と思ったのでは?そういうつながり、関係はとて大切だと思いました。それではつぎの放課後タイムもおたのしみに!

(江戸川総合人生大学ほっとけない!)
高木理恵



先生を紹介します

介護・福祉学科
杉 啓以子先生



3月「特養ホームの変遷～老いの住まいとして考える～」というテーマで身近な江戸川区の施設からの講義をとの総合人生大学からのご依頼に飛び上がるばかりの嬉しさ、つづ返事で引き受けいたしました。講義当日の教室は滝口御礼!区内のお顔見知りもちらほら。学生の皆様とは年齢も生きてきた年代も近く、福祉の歴史の時代背景を共有できたことで参加者の活発な授業となりました。区内に老人ホームはあるけれど、意外と知らない?ということで、今回は江東園を紹介しました。

江東園は、1962年に養護老人ホームを設立。1976年に保育園を運営。1987年、日本初の幼老統合の複合型施設が誕生しました。士代尚の交流により昔の大家族のようなかかわりを復活させるということがコンセプトです。23年経った今も「おじいちゃん・おばあちゃん元気ですか」という朝の挨拶から江東園の1日は始まっています。興味のある方は是非江東園において下さい。同様のニッコリ笑顔がお待ちしております。

●江東園本部/江戸川 1-46
電話/03(3677)4611
http://www.kotoden.or.jp/

同窓会の窓

夏がやってきました。この時期はオープンキャンパスや大学祭があり、人生大学が最も活気づく季節です。卒業生もお手伝いや準備で集まることが増え、同窓会を笑しお笑顔があふれています。

人生大学の学びの場では、3分とは違う考え方の仲間との出会いもあり、脳と心へ多くの刺激を与えてくれました。卒業後は学科や卒業期の枠を超えた交流も活発で、志を共有する仲間と培ってきた絆の深さが、卒業生の元気パワーの源になっていると拝察します。活動中のヒトも、充電中のヒトも、3分の生活に戻ったヒトも、入学前よりも、江戸川区を身近に感じる機会が増えたりしているのではないのでしょうか。

同窓会では、今後とも「共育・協働」の理念の基、人生大学を応援し、ともに笑いつづける喜びを分かち合う仲間作りのために努力を続けていきたいと思ひます。

★イベント・サークル情報★区民の皆様のご参加をお待ちしております

催し	日時	会場	費用	主催・お問い合わせ・内容
うきた 茨燕の会 (介添の予備は生さがいづくり)	10月6日オープン 毎月第1・第2火曜日 15:30~15時	宇声田十軒自治会館	毎月200円 材料費別	務合 TCL 090-4725-2547
国興江戸端会系 ヒメ語サロン odobeta]	8月8日、15日、22日 9月5日、12日、26日 13時30分~15時30分	清瀬田コミュニティ会館	100円	藤 計子 keikcheta@aol.com
江戸川ガイドグループ	10月14日	区内めぐり	200円	渋谷 正一 TCL 03-5675-3761
江戸川総合人生大学 学生・卒業生による第17・18回同窓会	9月26日(土) 17:30分~19時40分 11月28日(日) 0時30分~11時40分	タワーホール船堀3階 応接会議室	無料	堀川 IEL 03-3679-1357
第二回小さいお宝披露会 出演者: 柳家喜多八 金原高伸 三遊亭小舟歌 柳家さん八	9月6日(日) 13時開演 13時30分開演	葛西区式部4階小ホール	前売り 2,500円 当日 3,000円	なぎさらく会、葛西まち文化研究会(法人代表: 千田節子) チケット取り直可 電話 FAX 03-888-9277 kasaimachibunka@val00.ocn.jp

公開講座の お知らせ

江戸川総合人生大学では4月より毎月1回公開講座を実施しております。お1人でも、又お友達をお誘いの上、是非ご参加ください。

8月の 公開講座

講座名: 自分を生きる 自分を変える
~カウンセリングの3つのアプローチ~
講師: 諸富 祥彦(明治大学 文学部 教授)
日時: 8月25日(火) 10時30分~12時

場所: 篠崎文化プラザ講義室

定員: 80名

申込方法: 8月11日(火) 9時から(先着順)

電話: 江戸川総合人生大学事務局
03-3676-9075

「ひと あい えどがわ」編集委員

【4期生】熊谷と光、寺久保好子(江) 秋元直美、木村裕子(国) 住谷伊夫、矢吹幸子(子) 野田洋子、川崎美子(介)

【5期生】眞原代司、相本真由(江) 杉山久、細久美(国) 小杉裕子(子) 木元和子、宮崎洋江(介)

編集記事に関するお問い合わせは、大学事務局まで 電話: 03-3676-9075

編集後記

盛夏の大学祭本番、9月に4期生の卒業、10月は6期生の入学となります。情報紙「ひとあいえどがわ」11月号の発行となりました。皆さまのご意見、ご感想、すてきな情報をお待ちしております。編集長